

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（トマト）

地域（標高）	信濃町(680m程度)、長野市戸隠(850m程度)
土壌（土性）	

項目	生産計画の内容	補足メモ	
1 栽培 状況	(1) 品目	生食トマト（品種：桃太郎シリーズ）	
	(2) 作型名	ハウス雨よけ	
	(3) 面積	224 a	
	(4) 栽培戸数又は労働力	43戸	
	(5) 栽培期間	平成26年5月～平成26年11月	
	(6) 収穫期間	平成26年7月18日～平成26年11月10日頃	
	(7) 収穫量	H25実績 98,850 kg（うち出荷量：98,850 kg） H26計画 85,120 kg（うち出荷量：85,120 kg）	

2 栽培 方法	(1) 土づくり	信濃町堆肥センターの牛糞堆肥を秋又は春に、3t/10a施用																																						
	(2) 播種																																							
	(3) 育苗期間																																							
	(4) 定植	平成26年5月25日頃	購入苗利用																																					
	(5) 肥培管理	<p>○化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <p>牛糞堆肥、発酵油かすぼかし肥料「土壌のこ」を施用することにより、化学肥料の施用を控えている。</p> <p>○技術を導入する際の考え方</p> <p>毎年、土壌分析を行い、データに基づく肥培管理を行う。</p> <p>肥料の施用内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="3">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> </tr> <tr> <th>うち化学由来</th> <th>加里</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土壌のこ</td> <td>240</td> <td>7.2</td> <td></td> <td>9.6</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>野菜追肥N30号</td> <td>80</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> <td>3.2</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>ハイ磷マグ</td> <td>60</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>13.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>380</td> <td>22.2</td> <td>15.0</td> <td>26.0</td> <td>11.2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>低減率(%)</td> <td>59.4</td> </tr> </table>		肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)			窒素		リン酸	うち化学由来	加里	土壌のこ	240	7.2		9.6	4.8	野菜追肥N30号	80	14.4	14.4	3.2	6.4	ハイ磷マグ	60	0.6	0.6	13.2		合計	380	22.2	15.0	26.0	11.2	地区慣行施肥量 (kg/10a)	37.0	低減率(%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																						
		窒素				リン酸																																		
		うち化学由来	加里																																					
土壌のこ	240	7.2		9.6	4.8																																			
野菜追肥N30号	80	14.4	14.4	3.2	6.4																																			
ハイ磷マグ	60	0.6	0.6	13.2																																				
合計	380	22.2	15.0	26.0	11.2																																			
地区慣行施肥量 (kg/10a)	37.0																																							
低減率(%)	59.4																																							

2 栽培方法

(6) 病害虫防除	<p>○化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <p>フェロモントラップによるオオタバコガの発生予察 ムシコンマルチの使用 防虫ネットの使用</p> <p>○技術を導入する際の考え方</p> <p>生産者の日頃の病害虫観察による適期防除、物理的防除（アブラムシの忌避、害虫の侵入防止）により、防除回数を節減している。</p> <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>地域慣行農薬使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">殺菌剤</td> <td>ランマンフロアブル</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5">収穫開始前 13 収穫期間中 18</td> </tr> <tr> <td>アミスター20フロアブル</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コサイト3000</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アフェットフロアブル</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベルケート水和剤</td> <td>3,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">殺虫剤</td> <td>アドマイヤー1粒剤</td> <td>1~2g/株</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>ベストガード水溶剤</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フレオフロアブル</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モスピラン顆粒水溶剤</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アファーム乳剤</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td>トマトーン</td> <td>50~100</td> <td>1</td> <td>1/花房</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>合計</td> <td>21</td> <td>5</td> <td></td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>削減率 (%)</td> <td>51.5%</td> </tr> </table>		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数	殺菌剤	ランマンフロアブル	2,000	1	3	3			収穫開始前 13 収穫期間中 18	アミスター20フロアブル	2,000	1	2	2			コサイト3000	1,000	1	2	2	2		アフェットフロアブル	2,000	1	2	2			ベルケート水和剤	3,000	1	2	2			殺虫剤	アドマイヤー1粒剤	1~2g/株	1	1	1				ベストガード水溶剤	1,000	1	1	1			フレオフロアブル	1,000	1	2	2			モスピラン顆粒水溶剤	2,000	1	1	1			フローバックDF	1,000	1	3	3	3		アファーム乳剤	2,000	1	1	1			除草剤								1	植調剤	トマトーン	50~100	1	1/花房	1			1						合計	21	5		33	農薬の使用回数	16	地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	33	削減率 (%)	51.5%
	使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数																																																																																																																					
殺菌剤	ランマンフロアブル	2,000	1	3	3			収穫開始前 13 収穫期間中 18																																																																																																																					
	アミスター20フロアブル	2,000	1	2	2																																																																																																																								
	コサイト3000	1,000	1	2	2	2																																																																																																																							
	アフェットフロアブル	2,000	1	2	2																																																																																																																								
	ベルケート水和剤	3,000	1	2	2																																																																																																																								
殺虫剤	アドマイヤー1粒剤	1~2g/株	1	1	1																																																																																																																								
	ベストガード水溶剤	1,000	1	1	1																																																																																																																								
	フレオフロアブル	1,000	1	2	2																																																																																																																								
	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	1	1	1																																																																																																																								
	フローバックDF	1,000	1	3	3	3																																																																																																																							
	アファーム乳剤	2,000	1	1	1																																																																																																																								
除草剤								1																																																																																																																					
植調剤	トマトーン	50~100	1	1/花房	1			1																																																																																																																					
					合計	21	5		33																																																																																																																				
農薬の使用回数	16																																																																																																																												
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	33																																																																																																																												
削減率 (%)	51.5%																																																																																																																												
(7) 雑草防除	<p>畝にはビニールマルチを張り、通路には防草シートや稲ワラマルチを敷き、必要により手取り除草して、除草剤は使用していない。</p>																																																																																																																												
(8) 収量の状況	<p>畦幅140cm、株間55~60cm2条抱き畝千鳥植え、1本仕立て、平均10段獲りで、平均収量は3.8t/10a</p>																																																																																																																												
(9) その他特記事項	<p>牛糞堆肥、発酵油かすぼかし肥料を施用することにより、土壌が膨軟化してきた。</p>																																																																																																																												

3 販売状況

(1) 主な販売地域	<p>県内、三重県、九州</p>
(2) 販売方法	<p>JA(市場流通) (55%)、生協(35%) ほか</p>
(3) 県認証の活用方法	<p>三重県の市場向けダンボールへ、マークを付けて販売している。 J Aながののホームページで、県認証への取組みを掲載し、PRしている。</p>
(4) 実需者や消費者の反応、メリット	<p>消費者の信頼を得て、安定した販売ができている。</p>

